

授業科目

英語応用（病院英語）〔五十嵐 紀子〕

担当教員名 五十嵐 紀子	対象学年	2・3・4	対象学科	全学科
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

実際の場面を想定した英語ネイティブ教員による模擬患者とのロールプレイを通して、病院で働くスタッフとして日本語がわからない英語話者の支援方法を学ぶ。

授業の目的

保健医療福祉のサービスを提供する病院職員としてのコミュニケーションスキルを向上させながら、医療の場面で必要となる基本的なボキャブラリーや表現を使いながら覚える。
また、文化的背景や医療制度などを日本との比較において理解することも目的とする。

学習目標

1. 基本的な会話パターンに慣れ、場面に応じた対応をすることができる。
2. 多様なケースに対応できる柔軟性を身につける。
3. 国によって医療制度や習慣が異なることを認識する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション、外国人が遭遇する問題について	演習	五十嵐 紀子
2	会話練習： 挨拶と登録用紙記入のサポート	演習	五十嵐 紀子
3	会話練習	演習	五十嵐 紀子
4	ロールプレイと振り返り	演習	五十嵐 紀子
5	医療の制度の国際比較	演習	五十嵐 紀子
6	会話練習： 症状を尋ねる	演習	五十嵐 紀子
7	会話練習： 病院内の案内	演習	五十嵐 紀子
8	会話練習	演習	五十嵐 紀子
9	医療保険制度の国際比較	演習	五十嵐 紀子
10	会話練習： 次回診察予約をサポートする	演習	五十嵐 紀子
11	会話練習： 支払いの手続きをサポートする	演習	五十嵐 紀子
12	各自の専門職種でのサポートについて	演習	五十嵐 紀子
13	ケーススタディ	演習	五十嵐 紀子
14	ロールプレイ	演習	五十嵐 紀子
15	まとめ	演習	五十嵐 紀子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	ハウンドアウト					

評価方法

授業への積極的な参加と取り組み、ロールプレイによる実演により評価する。筆記試験は行わない。

履修上の留意点

病院における自分の職種を想定し、その職種がどのような役割を担うのかについて基本的なことを（日本語で）説明できるようにしてお

いて下さい。

ほとんど、英語のみでの授業となりますが、内容の理解のために日本語での説明が必要な場合は、遠慮なく必要だと言って下さい。辞書を持参して下さい。

オフィスアワー・連絡先

原則として、メールでアポイントを取ってから（日時のお約束をしてから）いらして下さい。
メールでの相談や質問は、いつでもOKです。

研究室：J406（J棟 4F）

メール：igarasi@nuhw.ac.jp